

2012-B					
拠出金・基金の名称:		国連薬物犯罪事務所 (UNODC) 拠出金			
種 別		イヤーマーク      ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国連薬物犯罪事務所 (UNODC)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省 総合外交政策局 国際安全・治安対策協力室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>●(テロ対策) 東南アジア諸国の刑事司法・法執行担当者へのCBRN, 海上テロ対策支援のためのワークショップの開催。</li> <li>●(薬物対策) 新興薬物 (NPS) 対策プロジェクト, 合成薬物モニタリング・プログラム, ミャンマーでのケシ栽培のモニタリング・プロジェクト, 大麻種子の流通動向調査プロジェクトを支援。</li> <li>●(人身取引対策) UNODCが開発した法執行職員向けの人身取引対策eラーニング教材のタイ語への翻訳プロジェクトへの支援。タイからは我が国への人身取引被害者の流入が多いため, 人身取引被害者保護を行う職員に役立てる。</li> <li>●(アフガニスタン) アフガニスタンやその周辺国の薬物不正取引取締りにあたる警察官への支援, 国境管理, 代替開発支援プロジェクト。</li> </ul>					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率 (%)
平成24年度	581,917	7,184	-	1米ドル = 81円	100
平成23年度	1,512,388	16,993	-	1米ドル = 89円	100
平成22年度	1,059,630	11,273	-	1米ドル = 94円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>●UNODCは国際的な薬物・組織犯罪・テロ対策を包括的に扱う唯一の国連機関である。6月に、英国ロッキアーンで開催されたG8首脳会議コミュニケにおいては、テロ・組織犯罪に取り組む機関としてのUNODCの重要性が謳われた。</li> <li>●安倍総理によるTICAD Vでの北アフリカ・サヘル地域のテロ対策支援についての発表、岸田外務大臣によるアルジェリア事件を受けた外交政策の三本柱「国際テロ対策の強化」の実施、G8首脳会議における各国首脳のコミットに基づき、今後とも途上国へのテロ対策を支援する。特に北アフリカについては、テロ対策支援を必要としている国が多数あることから、これらの国に対する我が国の支援を継続していく。</li> <li>●我が国へは、アジア地域から多くの覚醒剤が流入しており引き続き深刻な社会問題となっている。UNODCが実施するアジア地域の覚醒剤の動向分析プロジェクトは、アジア地域等における薬物動向の分析に成果をもたらしており、これらプロジェクトへの支援は、我が国への不正薬物の流入を防ぐために役立つものとなっている。また、アフガニスタンについては、麻薬取引対策にあたる警察官への支援、国境管理や代替開発など、アフガニスタンの治安安定に向けた支援を継続している。</li> <li>●我が国にはタイ、フィリピン等からも人身取引被害者が流入している。これら諸国での人身取引プロジェクトへの支援は、政府が策定した「人身取引対策行動計画2009」における国際協力推進のための具体的な施策となるものである。</li> <li>●近年のG8は腐敗対策を強化しており、我が国もG8首脳宣言において、腐敗対策支援の強化や腐敗収益の返還に向けた取組にコミットしており、東南アジアや中東諸国等への支援を継続していく必要がある。</li> <li>●UNODCは、資金調達戦略の策定、財政及びガバナンスに関する作業部会での議論などによって、合理化・機能強化のための改革努力を行っている。我が国は同機関の政策・運営に関する意思決定を行っている麻薬委員会、犯罪防止刑事司法委員会、財政及びガバナンスに関する作業部会への参加を通じ、我が国の政策や組織運営についての考え方を反映させている。</li> </ul>					